CORONA

コロナ自然対流形電気暖房機

取扱説明書

〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷しています。

型式 ディー エイチ エス DHS-1226 DHS-1526



このたびは、コロナ自然対流形電気暖房機をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed and manufactured for use only in Japan. In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.

もくじ

ページ

1 安全上のご注意 ---- 1〜2
2 各部のなまえ ---- 3〜5
3 使用前の準備 ---- 6
4 知っておいていただきたいこと ---- 7〜8
5 使用方法 ---- 8〜18
- ●運転する前の準備 ---- 8
- ●運転と停止 ---- 9
- ●メニュー画面の表示 ---- 9
- ●自動運転 ---- 10
- ●手動運転 ---- 10
- ●プログラム運転 ---- 11〜13
- ●入タイマー運転 ---- 14
- ●現在時刻 ---- 15
- ●ecoモード ---- 15
- ●パワーセーブ ---- 16
- ●チャイルドロック ---- 16
- ●フロアLED ---- 17
- ●フロアLED・表示部バックライトの明るさ ---- 17
- ●表示部バックライトの常時点灯 ---- 18
- ●操作音オフ ---- 18
- ●記憶機能 ---- 18
- ●リモコン操作 ---- 18
- ●電源コード収納 ---- 18

6 お手入れのしかた ---- 19
7 保管 ---- 19
8 別売品について ---- 19
9 故障・異常の見分けかたと処置方法 ---- 20〜21
10 定期点検 ---- 21
11 仕様 ---- 22
12 アフターサービス ---- 22
13 お客様ご相談窓口 ---- 22
■ 保証書 ---- 裏表紙

株式会社コロナ

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

■お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。

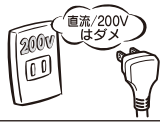

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。


❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な行為の指示)が描かれています。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

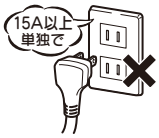
⚠警告(WARNING)

交流100V以外では使用しない
定格以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になります。



禁止

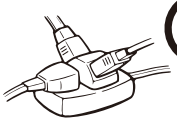
定格15A以上のコンセントを単独で使用する
他の器具と併用するとコンセントが異常に発熱して火災の原因になります。



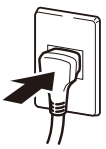
必ず守る

コンセントの差しこみが緩いときや、電源プラグや電源コードが傷んでいるときは使用しない
感電や火災の原因になります。
禁止

電源コードの途中での接続、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしない
感電や発熱、火災の原因になります。


禁止

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差しこむ
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や発熱、火災の原因になります。


必ず守る

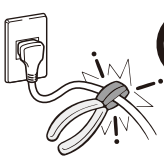
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電のおそれがあります。


ぬれ手禁止

運転中に電源プラグを抜き差ししない
感電や発熱、火災の原因になります。
禁止

電源コードはコードフックにかけたまま使用しない
電源コードが破損して、感電や発熱、火災の原因になります。
禁止

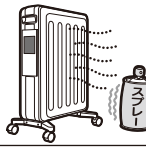
電源コードは折ったり、強く束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない
電源コードが破損して、感電や発熱、火災の原因になります。


禁止

本体に衣類、タオルなどをかけたり、ふとんなどで覆ったり、カーテンなど燃えやすい物の近くで使用しない
本体が変形したり、火災の原因になります。

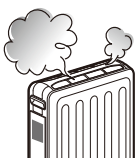

覆いかけ禁止

スプレー缶や有機溶剤などを本体の近くに置かない
熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発や火災の原因になります。



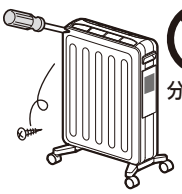
禁止

異常時（こげた臭いや煙が出ている場合など）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼する
異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。


プラグを抜く

（ただし、初めてご使用になるときは、本体内部に付着している油分などが焼けるため、ヒーター部や内部から煙や臭いが出ることがありますが、しばらくするとなくなります。十分換気をしながらご使用ください。）

改造はおこなわない
修理技術者以外の方は修理や分解をしない
異常動作をしてけがをするおそれがあります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

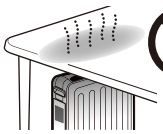

分解禁止

乳幼児や高齢者、病気の方など自分で操作できない方が使用する場合は周囲の人の目が届くよう十分注意する
高温注意
やけどのおそれがあります。
次のような方が使用する場合は特に注意してください。
- 乳幼児・皮膚感覚の弱い方・高齢者・病気の方
- 自分で操作できない方・深酒をされた方・疲労の激しい方
- 眠気をさそう薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方

リモコンを小さなお子様の手が届く場所に置かない
誤操作によるやけどや、火災の原因になります。
電池の誤飲のおそれがあります。
禁止

開口部などの穴やすき間に、ピンや針など金属物または指を入れない
内部の部品にふれて故障したり、火災や感電、けがややけどの原因になります。
禁止

テーブルや机の下で使用しない
本体の上部をふさぐと空気の対流ができないため、本体が変形したり、火災の原因になります。


禁止

本体を傾けたり、壁によりかかった状態のまま使用しない
本体が変形したり、火災の原因になります。
禁止

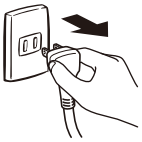
⚠注意(CAUTION)

長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

漏電や火災の原因になります。

必ず守る

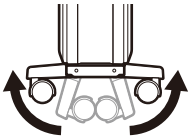
電源プラグを抜くときは電源プラグを持って抜く



電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

必ず守る

キャスターは開いて使用する



キャスターを開かずに使用したり、開きかたが不完全な場合、転倒して故障や破損の原因になります。

必ず守る

毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、水平な場所に置く

転倒して故障や破損の原因になります。

必ず守る

本体が転倒したときは使用を中止する

転倒時は本体が変形したり、故障や破損の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に点検・修理を依頼してください。

必ず守る

本体の移動は､運転を停止し、本体が冷めてからおこなう

やけどの原因になります。

必ず守る

本体の移動は、とってを持つ

とって以外(電源コードなど)を持って本体を移動させた場合、転倒して故障や破損の原因になります。

必ず守る

お手入れは本体が冷めてからおこなう

本体をお手入れするときは電源プラグをコンセントから抜いて本体が冷めていることを確認してからおこなってください。感電や、やけどの原因になります。

必ず守る

キャスターロック中に無理に本体を動かさない



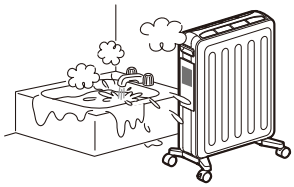
故障や破損の原因になります。

禁止

本体に水をかけない
また、湿気の多い場所(浴室や屋外、温泉の脱衣所など)では使用しない

禁止

水などがかかると、内部に浸水して、感電や漏電火災の原因になります。
また、誤動作の原因になります。
水などがかかったら電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。



可燃性ガスの発生するもの(ガソリン、シンナー、ベンジン、揮発性のスプレーなど)の近くでは使用しない



引火して爆発や火災の原因になります。

禁止

本体操作部または付属のリモコン以外では操作しない

故障や火災などの原因になります。

禁止

壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20㎝以上離す

材質によっては、本体の熱で変色、変質の原因になります。

必ず守る

人や家具などからは1ｍ以上離す

本体の転倒防止、家具などへの接近を考慮して 1m 以上の距離を取ってください。

必ず守る

運転中や運転停止後しばらくは本体上部など高温部にふれない

やけどの原因になります。
小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

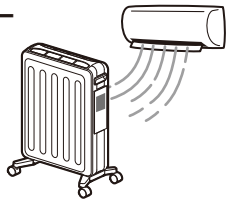
接触禁止

ヒーターを指や棒などでさわらない

故障や破損、やけどの原因になります。

接触禁止

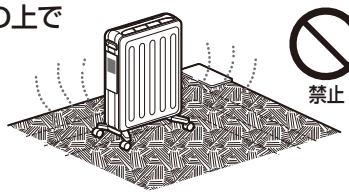
運転中、本体にファンヒーターやエアコンなどの風をあてない



安全装置(過熱防止装置)がはたらき、運転を停止するおそれがあります。

禁止

ホットカーペットや床暖房の上で使用しない



安全装置(過熱防止装置)がはたらき、運転を停止するおそれがあります。

禁止

運転中、ロボット掃除機などを近くでは使用しない

本体と接触して故障や火災の原因になります。

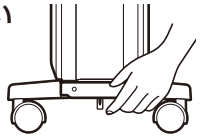
禁止

本体の通気口をふさがない

本体が変形したり、火災の原因になります。

禁止

ルームサーモセンサーをさわらない

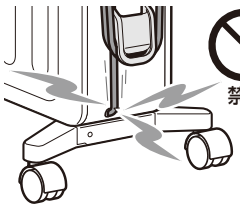


キャスター付近にあるルームサーモセンサーをさわると動作不良、性能低下の原因になります。

禁止

電源コードの根元を強く曲げない

故障や破損の原因になります。



禁止

リモコンを直射日光の強いところや、本体上部など熱を受ける場所に置かない

故障や破損の原因になります。

禁止

特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。

禁止

乾燥など他の用途(工場・業務用)に使用しない

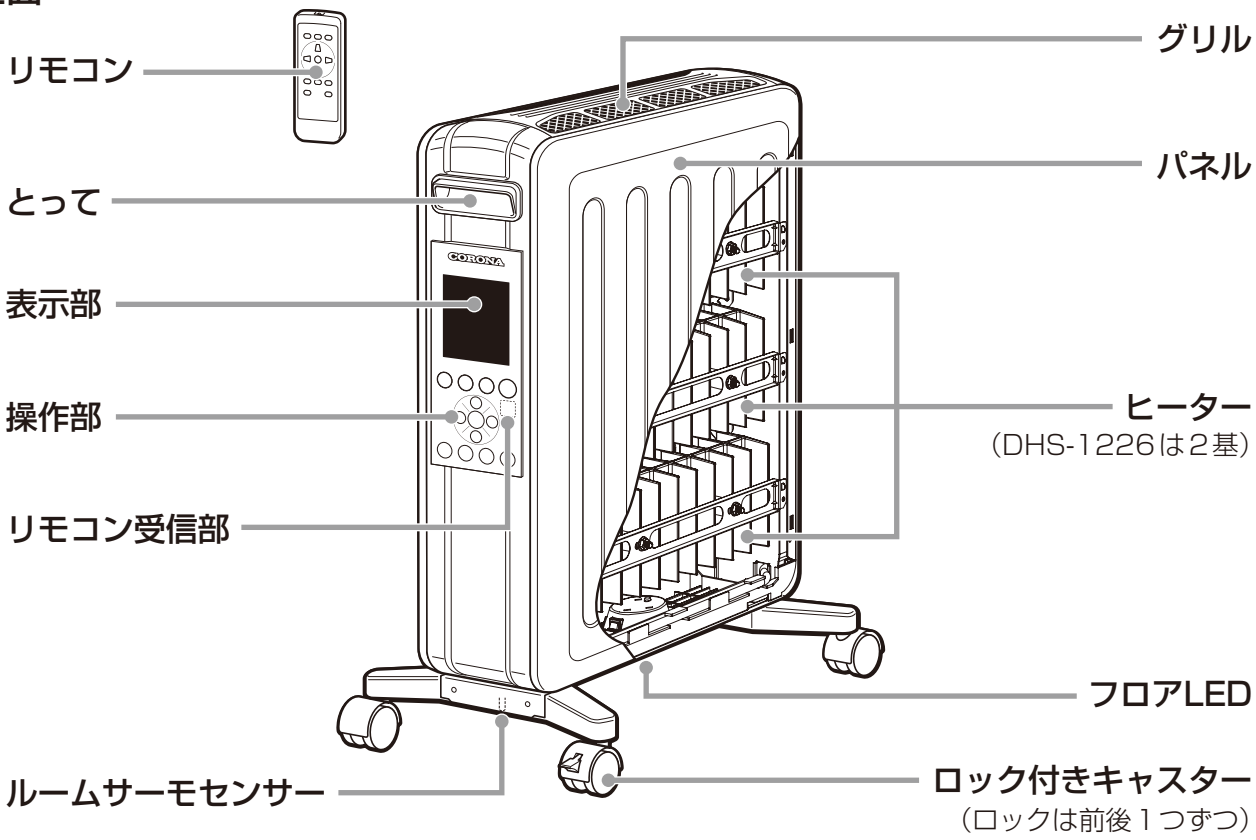
本体が変形したり、過熱して発火するおそれがあります。

禁止

2 各部のなまえ

本 体

■正面



■背面

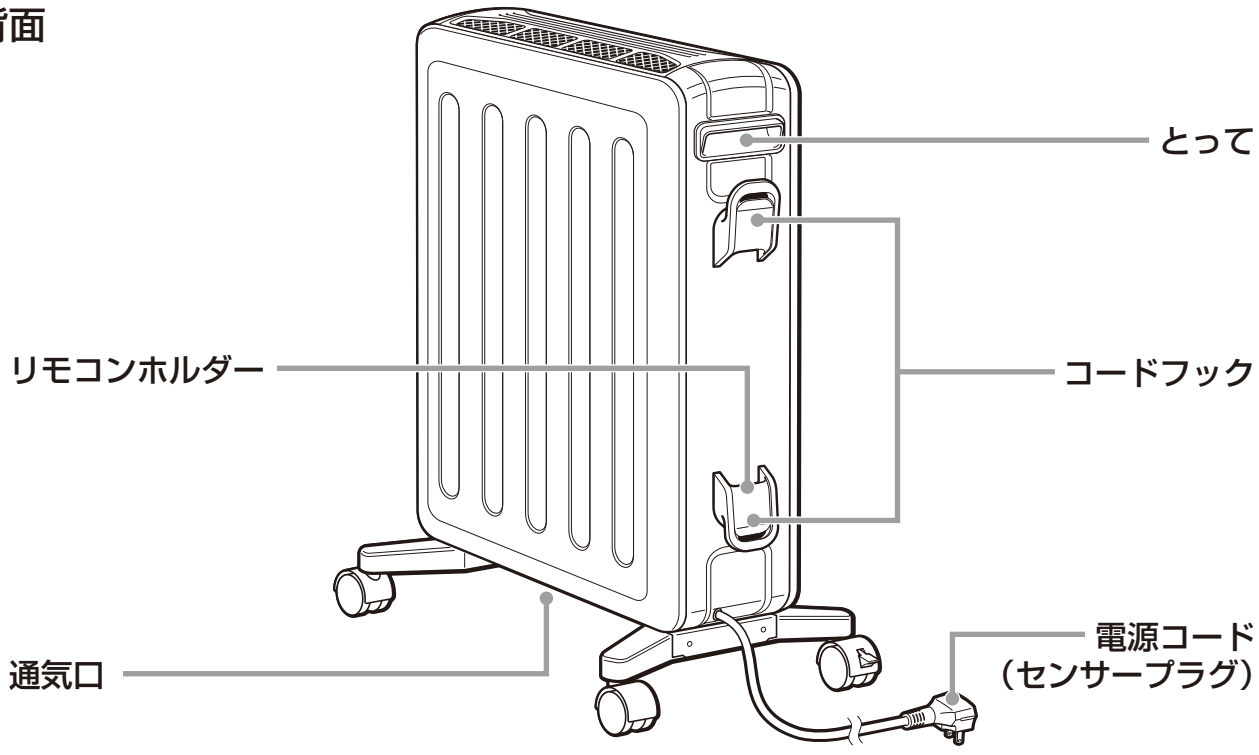


表 示 部

※イラストは説明のため全ての表示が点灯した状態です。
運転停止時、1分間操作がないとき、表示部バックライトが消灯します。

（□：詳しい説明のあるページです。）

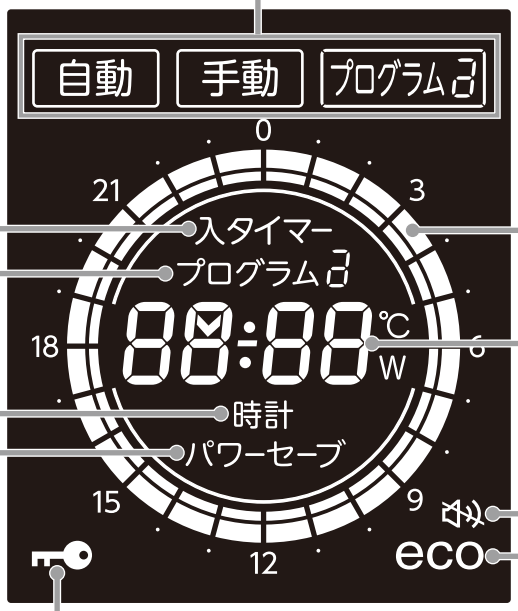
運転状態表示 9
選択した運転状態を表示します。

入タイマー表示 14
入タイマー時刻を設定しているとき、または入タイマーがセットされているときに表示します。

プログラム合せ表示 13
プログラム運転を設定しているときに表示します。

時計合せ表示 15
現在時刻を設定しているときに表示します。

パワーセーブ表示 16
パワーセーブを設定しているとき、またはパワーセーブがセットされているときに表示します。



パワーモニター/サークルタイマー表示
自動運転中、手動運転中にはパワーモニターとして、3段階のリングで運転状態を表示します。
プログラム運転中にはサークルタイマーとして、選択したプログラム運転の時間帯を表示します。

現在時刻/設定温度/出力表示
運転状態や設定に合わせて、現在時刻・設定温度・出力を表示します。

操作音オフ表示 18
操作音オフ機能がセットされているときに表示します。

ecoモード表示 15
ecoモードがセットされているときに表示します。

チャイルドロック表示 16
チャイルドロックがセットされているときに表示します。

操 作 部

運転ランプ（オレンジ）
運転中に点灯します。
安全装置作動による自動停止で点滅します。

自動キー 10
自動運転をするときに押します。

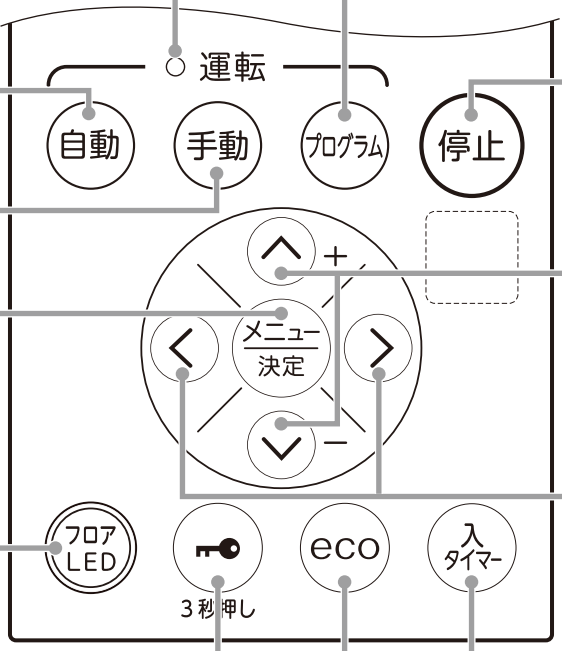
手動キー 10
手動運転をするときに押します。

メニュー/決定キー 9
設定を変更するとき、選択した項目を決定するときに押します。

フロアLEDキー 17 18
- フロアLEDを点灯・消灯するときに押します。
- フロアLED、表示部バックライトの明るさを変更するときに押します。

チャイルドロックキー 16
チャイルドロックのセット・解除をするときに押します。

ecoキー 15
ecoモードのセット・解除をするときに押します。



プログラムキー 12
プログラム運転をするとき、プログラムコース1～3を切りかえるときに押します。

停止キー 9
各運転を停止するときに押します。

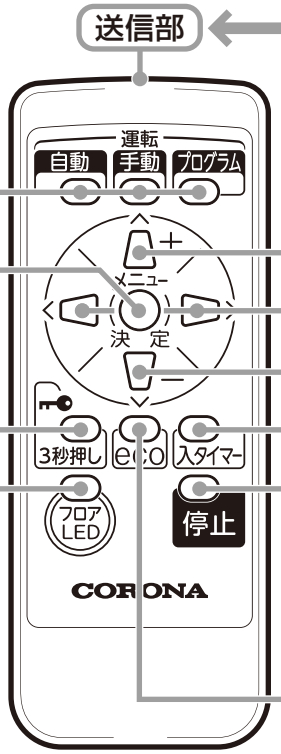
∧キー・∨キー
- 自動運転中・プログラム運転中の設定温度、手動運転中の出力をかえるときに押します。
- プログラム運転の設定中、運転の「入」・「切」を切りかえるときに押します。
- 現在時刻・入タイマー時刻を合わせるときに押します。
- 設定メニューで項目の上下選択をおこないます。

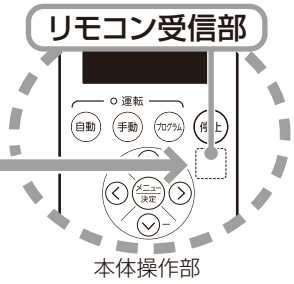
<キー・>キー
- プログラム運転の設定中、設定する時間帯を切りかえるときに押します。
- 現在時刻・入タイマー時刻を合わせるときに押します。

入タイマーキー 14
入タイマーのセットをするときに押します。

リモコン

操作方法は本体操作部と同じです。
（□：詳しい説明のあるページです。）





リモコン送信部を本体操作部に向けて操作をしてください。

自動キー・手動キー・プログラムキー
各運転をするときに押します。 10 11 12

メニュー／決定キー 9
設定を変更するとき、選択した項目を決定するときに押します。

チャイルドロックキー 16
チャイルドロックのセット・解除をするときに押します。

フロアLEDキー 17 18
- フロアLEDを点灯・消灯するときに押します。
- フロアLED、表示部バックライトの明るさを変更するときに押します。

∧キー・∨キー・＜キー・＞キー
- 設定をかえるときに押します。
- 項目の選択・切りかえをおこないます。

入タイマーキー 14
入タイマーのセットをするときに押します。

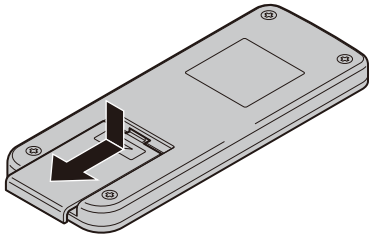
停止キー 9
各運転を停止するときに押します。

ecoキー 15
ecoモードのセット・解除をするときに押します。

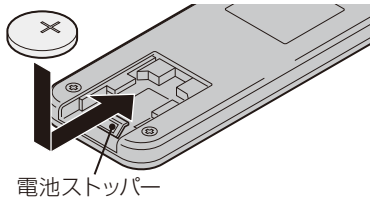
【電池の入れかた】

付属のリチウム電池（CR2025）を入れて使用します。

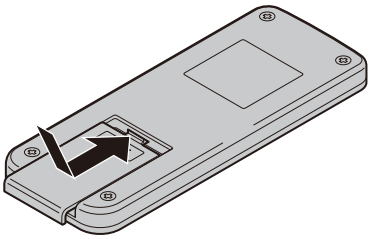
1. ふたをスライドして取る



2. リチウム電池の+面を上にして電池ストッパーを押しながらスライドして入れる



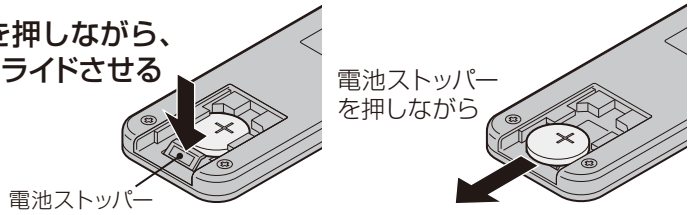
3. ふたをスライドして閉じる



●電池の＋と－をショートさせないでください。
●長時間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。
●万一、液漏れがおこったときは、汚れをよくふき取ってから、新しい電池と交換してください。
●電池が消耗すると動作しにくくなります。新しい電池と交換してください。
●交換用電池をお買い求めの際は、CR2025をご購入ください。

【電池の外しかた】

1. 電池ストッパーを押しながら、リチウム電池をスライドさせる



2. ふたをスライドして閉じる

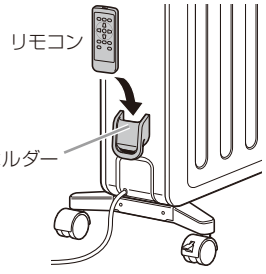


【リモコンを使うときは】

●リモコンの送信部を本体操作部に向けて操作してください。（障害物があると信号が届きません。）
●本体から受信音が鳴ることで、リモコンからの信号を受信したことをお知らせします。
●受信できる距離はリモコン受信部正面、約５m 以内です。

【リモコンを使用しないときは】

●本体背面のリモコンホルダーに収納できます。



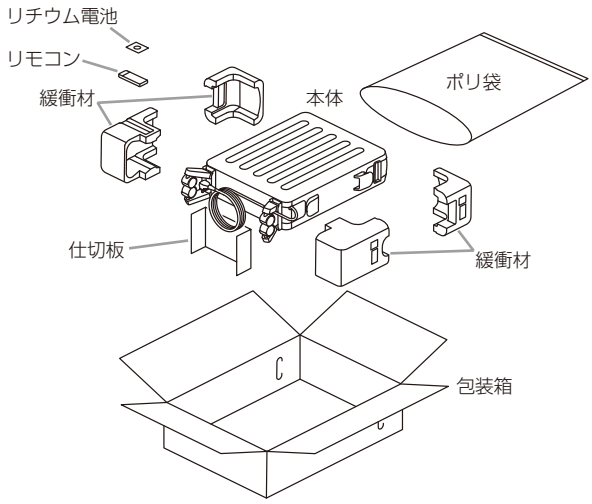
ご注意

●電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯があるお部屋では、リモコンの信号を受け付けないことがあります。このようなときはお買いあげの販売店にご相談ください。
●本体操作部に直射日光や照明器具の強い光があたる場合、リモコンが正しく動作しないことがあります。
●リモコンを本体上部や熱を受けるところに置かないでください。
●リモコンを投げたり、落としたりしないでください。また、水などをかけたりしないでください。

3 使用前の準備

開梱とキャスターの開きかた

【包装箱から本体を出す】



●リモコンとリチウム電池を「緩衝材(発泡スチロール)」から取り出してください。

※リチウム電池はテープに貼りついているため、誤ってテープと一緒に捨てないでください。

●本体を「包装箱」から取り出し、「緩衝材」と「仕切板（ダンボール)」を取り除いた後、本体を「ポリ袋」から取り出し、「包装箱」や台などの平らなところに、本体を横向きに置いてください。

※本体を横向きに置くときは、本体を傷つけないように注意してください。

●電源コードを固定しているビニールバンドを外してください。

●「包装箱」、「緩衝材」は保管に必要です。また、取扱説明書も忘れずに保管してください。

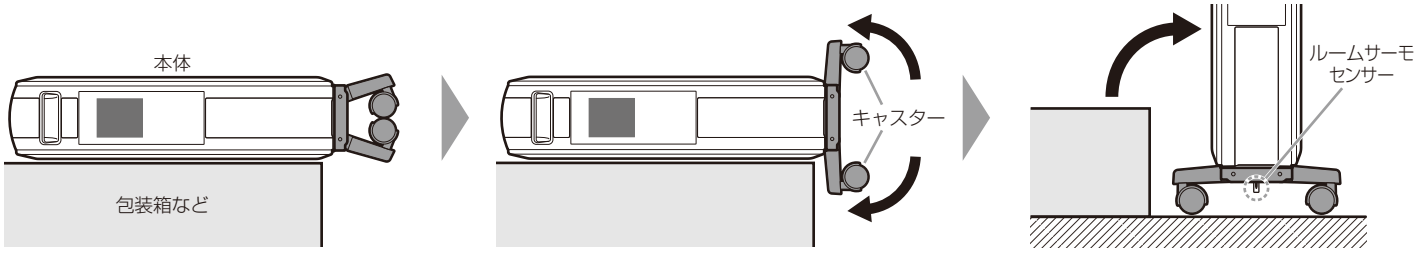
【キャスターを開く】

●すべてのキャスター(4カ所)がしっかりと固定されるまで外側に開いてください。

●本体を持ちあげておこし、キャスターを下にして平らな場所に置いてください。

●本体が傾いていないことを確認してください。

※キャスター付近にあるルームサーモセンサーをむやみに曲げたり、ひっぱったりしないでください。



①包装箱などの平らなところに本体を横向きに置く

②キャスターが外側にしっかりと固定されるまで開く

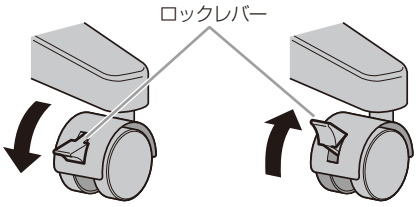
③本体をおこし、キャスターを下にして平らな場所に置く

キャスターのロック

●キャスターには右前と左後の2カ所にロックがついています。

●ロックレバーを下げるとキャスターをロックします。

●ロックを解除する場合は、ロックレバーを上げてください。



⚠注意

●キャスターを開くときは、可動部で指をはさまないように注意してください。
けがのおそれがあります。

●キャスターを開いて、本体をおこして平らな場所に置くまでは、電源プラグをコンセントに差しこまないでください。
火災や感電・けがや、やけどの原因になります。

●運転時はキャスターをロックして使用してください。
キャスターがロックされていない場合、転倒して故障や破損の原因になります。

●運転中に本体を移動させないでください。
やけどの原因になったり、安全装置がはたらき運転を停止する場合があります。

●本体の移動は、運転停止後本体が十分に冷めてからおこなってください。
やけどの原因になります。

●キャスターをロックしたまま本体を移動させないでください。
床面、畳、カーペットに傷をつけたり、転倒して故障や破損の原因になります。

4 知っておいていただきたいこと

使用場所

●燃えやすいものや障害物とは、必ず右図に示す距離をとって設置してください。
特にカーテンなどがふれないように注意してください。

●壁などに近づけすぎると本体内部が過熱して安全装置が作動することがあります。

●洗濯物の下で使用しないでください。衣類が落下して火災のおそれがあります。

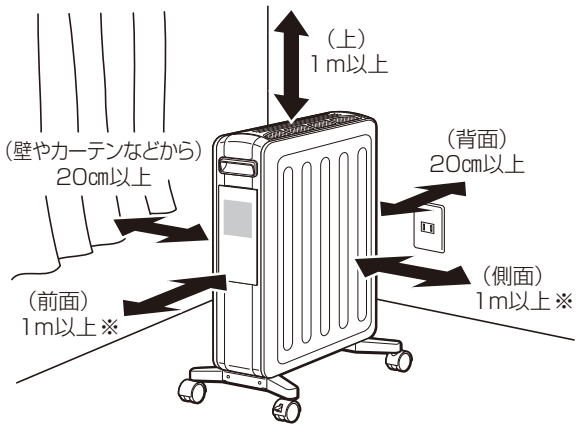
●水平でない場所や不安定な場所では使用しないでください。

●本体を室温の低いお部屋から高いお部屋へ移動したときは、室温にならしてから使用してください。

●ファンヒーターやエアコンなどの風が直接本体にあたる場所で使用しないでください。安全装置が作動することがあります。

●直射日光のあたる場所では使用しないでください。変色や変形の原因になります。

●マントルピースなど本体が囲われる場所では使用しないでください。



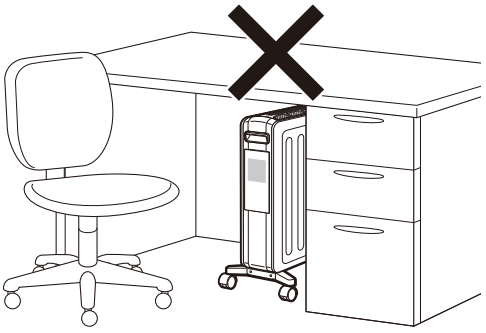
※寝室で使用する場合は、人や家具などから１m以上離してください。

ご注意

**●本製品は、一般家庭用製品です。
工場や倉庫など一般家庭用以外（業務用）の用途で使用すると故障の原因になります。一般家庭以外では使用しないでください。**

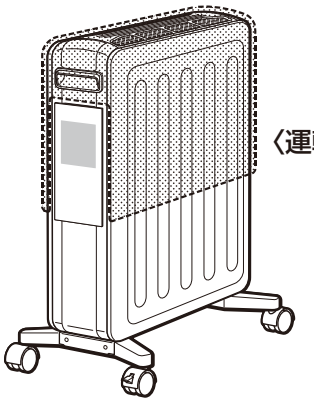
**●テーブルや机の下で使用しないでください。
本体の上部をふさぐと本体が変形したり、火災の原因になります。**

●毛足の長い絨毯や凸凹のある床面はさけて、水平な床面に置いて使用してください。



運転中に熱くなる部分

●運転中は図に示す [ ] 部分が熱くなりますので、運転中および運転停止後しばらくは手をふれないでください。
やけどのおそれがあります。



〈運転中に熱くなる部分〉

センサープラグ

【センサープラグとは】

●温度センサーを内蔵した電源プラグです。温度センサーが、接触不良やトラッキングによる異常温度上昇をお知らせします。

【センサープラグが作動したとき】

●センサープラグが作動したときは、警告音と運転ランプの点滅および表示部にエラー表示[EP]を表示し運転を停止します。

●電源プラグやコンセントにほこりなどの付着がないか清掃・点検をしてください。処置をしても再度運転が停止するときは、コンセントの経年劣化などの接触不良により、発熱した可能性があります。異常があるコンセントでの使用を中止し、お近くの電気工事店などにコンセントの修理をご依頼ください。

●トラッキング現象や電源プラグとコンセントの接触不良などについては、「運転する前の準備」(☞８ページ)をご覧ください。



雑音防止

●ラジオ、テレビ、補聴器、電話などを近づけて使用すると雑音が入ることがあります。
このようなときは本体から２m以上離してご使用ください。また、他のコンセントをご使用ください。

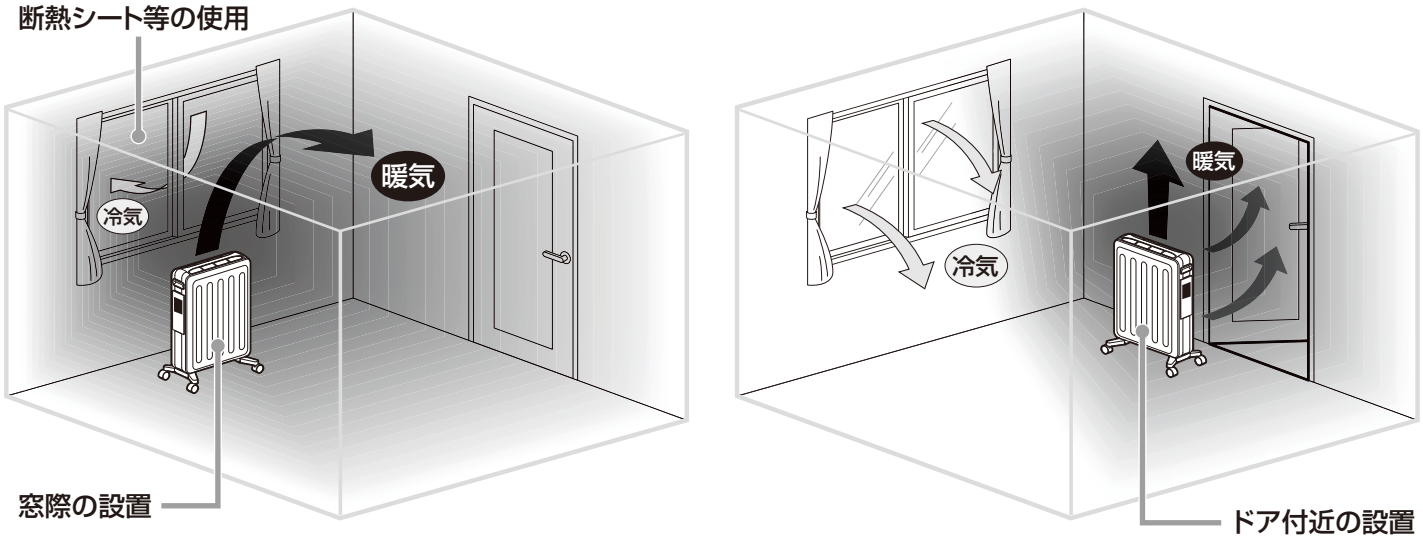
効果的に使用するために

●市販の断熱シートを使用するなど、冷気の侵入を防ぎお部屋の断熱性を高めたり、サーキュレーターなどを使用して、あたたかい空気を循環させることで、より効果的になります。
（運転中、本体にサーキュレーターなどの風をあてないでください。安全装置がはたらき運転を停止するおそれがあります。）

●お部屋の諸条件（断熱性能など）によって、あたたまりかたは異なります。

●窓際に設置すると、暖房機の熱が冷気の侵入を防ぎ室内温度のむらをおさえられます。

●ドア付近に設置すると、あたたまった空気が室外に逃げやすく暖房効果が小さくなります。また、窓から冷気が侵入して、室内温度にむらができやすくなります。



5 使用方法

運転する前の準備

【電源の接続】

●電源プラグは刃の根元まで確実に差しこんでください。

●電源プラグをコンセントに差しているとき、本体からかすかに回路の制御音がしますが、異常ではありません。



ご注意

●電源プラグは定格 15A 以上のコンセントに直接差し、2口コンセントでは片側を空けて単独で使用してください。

●差しこみがゆるいコンセントは、使用しないでください。

●延長コードは使用しないでください。

●電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持っておこなってください。

●電源プラグやコンセントの周囲に、ほこりなどの付着がないか点検・清掃をしてください。（トラッキング現象の防止）

※トラッキング現象に注意してください。
コンセント周りにほこりが付着し、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流によって電源プラグやコンセントの表面が炭化し、放電現象や火災のおそれがあります。

※電源プラグとコンセントの接触不良に注意してください。
電源プラグが刃の根元までしっかり差しこまれていない場合、コンセントの差しこみがゆるい場合、または経年劣化などがある場合は、電源プラグとコンセントの接触が不十分となり、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けると電源プラグやコンセントが熱で変形して、火災のおそれがあります。

【現在時刻の確認】

●電源プラグをコンセントに差しこむと現在時刻を表示します。１分間操作がないとき表示部バックライトが消灯します。

●表示部バックライトを常時点灯させたいときは、「表示部バックライトの常時点灯」（☞18ページ）の手順で設定してください。

●現在時刻は工場出荷時に合わせていますが、多少ずれることがあります。時刻がずれているときは、「現在時刻」（☞15ページ）の手順で合わせてください。

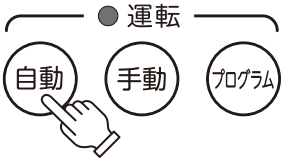
運転と停止

【運転開始と運転切りかえ】

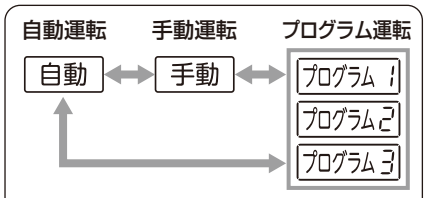
●「自動」キー、「手動」キー、「プログラム」キーを押すことで運転します。

●運転の切りかえは「自動」キー、「手動」キー、「プログラム」キー（プログラム１～３）の各キーを押すことで、各運転キーに応じた運転に切りかわります。

※自動運転中、手動運転中は現在時刻を表示しません。



運転状態の表示



※プログラム運転は、キーを押すごとに 1→2→3 と切りかわります。

●運転中（初めてのご使用やシーズン初めのご使用時）は、本体や内部から臭いが出ることがありますが、ご使用後しばらくするとおさまります。臭いが出たときは、十分換気をしてご使用ください。

●本体があたたまったり、冷めたりする際、本体から金属音がすることがありますが、異常ではありません。

【運転停止】

●運転中に「停止」キーを押すことで運転を停止します。

●操作音が鳴り、運転ランプが消灯し、表示部が現在時刻に切りかわります。

●運転停止後、しばらくはグリル、とって、本体上部など運転中に熱くなる部分にふれないでください。

●運転停止後、１分間操作がないとき、表示部バックライトが消灯します。

※安全装置の作動により、エラー表示で運転停止をしたときは、「故障・異常の見分けかたと処置方法」（☞20～21ページ）をご覧ください。





運転ランプ〈消灯〉

メニュー画面の表示

●各種設定をおこなうときに表示します。

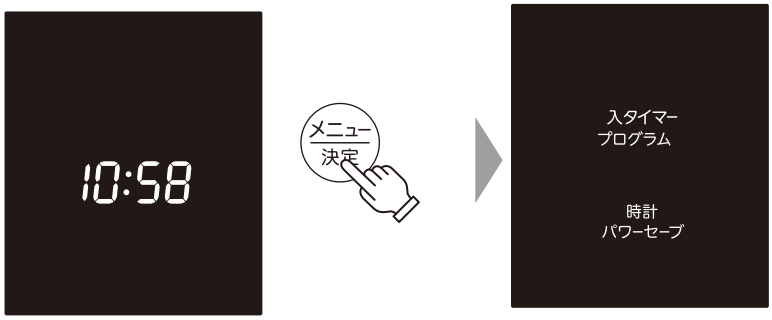
●運転中または停止中に「メニュー / 決定」キーを押すことでメニュー画面［入タイマー］［プログラム］［時計］［パワーセーブ］を表示します。

●「∧」キーまたは「∨」キーを押して設定したい項目を点滅させて、「メニュー / 決定」キーを押して選択してください。

●［入タイマー］点滅中に「∧」キーを押したとき、［パワーセーブ］点滅中に「∨」キーを押したとき、または10秒間操作がないとき、設定前の表示にもどります。

例：停止中（運転中も可）

メニュー画面
選択した項目〈点滅〉



※［入タイマー］について　：「入タイマー運転」（☞14ページ）
［プログラム］について　：「プログラム設定」（☞13ページ）
［時計］について　：「現在時刻」　（☞15ページ）
［パワーセーブ］について：「パワーセーブ」　（☞16ページ）

自動運転

設定温度に応じて、ヒーターの出力を自動的に切りかえて運転します。

【運転開始】

「自動」キーを押す

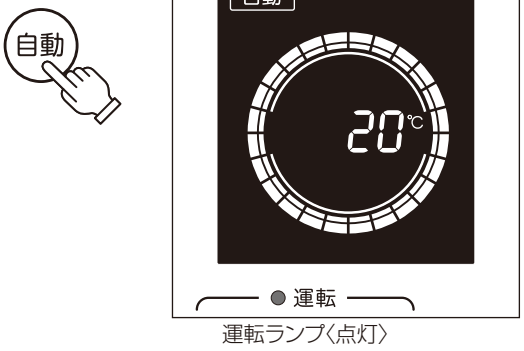
●操作音が鳴り、本体操作部の運転ランプが点灯します。

●表示部の運転状態表示 自動 と設定温度、パワーモニターを設定温度に応じて表示します。

●ルームサーモセンサーにより、設定温度に応じて、自動的に出力調整をおこないます。ルームサーモセンサーは本体周辺の温度を検知するため、お部屋の温度とは一致しないことがあります。

●せまいお部屋や外気温が比較的高いときに、室温が設定温度をこえる場合があります。

●本体に直射日光や風があたっていたり、エアコンやファンヒーターなど他の暖房器具の影響を受けている場合には、ルームサーモセンサーが正しい温度を検知できません。



【温度設定】

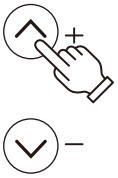
自動運転中に「∧」キーまたは「∨」キーを押す

●設定温度をお好みの温度に合わせてください。押すごとに1℃ずつかわり、押し続けると連続してかわります。(8 ～ 28℃まで設定できます。)

●設定温度は自動運転とプログラム運転で連動しています。自動運転で設定温度をかえるとプログラム運転の設定温度も合わせてかわります。

●設定温度は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。

●ヒーターの運転状態をパワーモニター表示で確認できます。設定温度に対して室温が低いときは強出力で運転し、設定温度に対して室温が高いときは運転を一時停止します。



パワーモニター表示と運転状態

室　温	低いとき ◀		▶ 高いとき
ヒーター出力	強 ◀	▶ 弱	一時停止
表示部	20℃	20℃	20℃	20℃
	● 運転 運転ランプ〈点灯〉	● 運転 運転ランプ〈点灯〉	● 運転 運転ランプ〈点灯〉	● 運転 運転ランプ〈点灯〉
DHS-1226 ヒーター出力	1,200W	900W	600W、300W	0W
DHS-1526 ヒーター出力	1,500W	1,200W、900W	600W、300W	0W

手動運転

設定出力に応じて、ヒーターの出力を固定して運転します。

【運転開始】

「手動」キーを押す

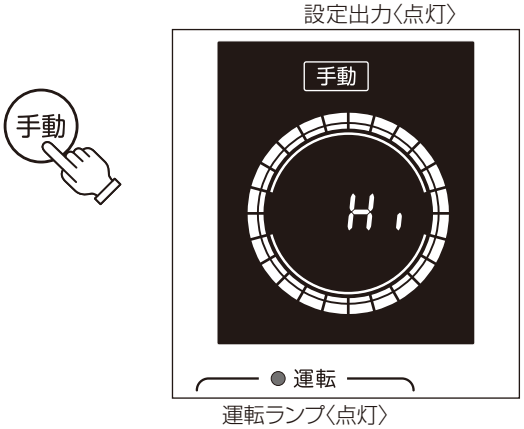
●操作音が鳴り、本体操作部の運転ランプが点灯します。

●表示部の運転状態表示 手動 と設定出力、パワーモニターを表示します。

●室温などにかかわらず、設定した出力で運転します。

●室温が35℃以上になるとヒーターの出力が300Wに下がります。

●せまいお部屋や外気温が比較的高いときに、強出力で運転すると、過熱防止装置がはたらく場合があります。

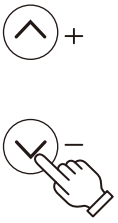


【出力設定】

手動運転中に「∧」キーまたは「∨」キーを押す

●設定出力をお好みの出力に合わせてください。押すごとに [Hi] [Mid] [Lo] とパワーモニター表示が切りかわります。

●設定出力は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。



パワーモニター表示と運転状態

ヒーター出力	強	中	弱
	High	Middle	Low
表示部	Hi	Mid	Lo
	● 運転 運転ランプ〈点灯〉	● 運転 運転ランプ〈点灯〉	● 運転 運転ランプ〈点灯〉
DHS-1226 ヒーター出力	1,200W	900W	600W
DHS-1526 ヒーター出力	1,500W	900W	600W

プログラム運転

設定した時間帯に自動運転をおこないます。

プログラム運転の説明、設定方法などの動画は、こちらから確認できます。

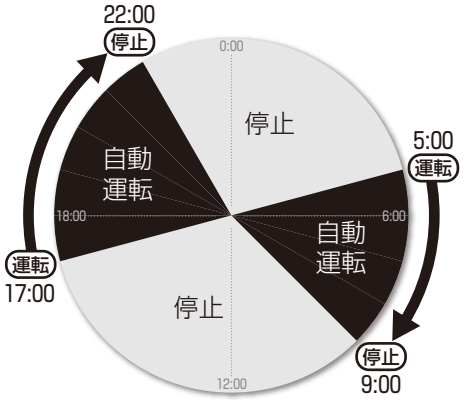
【プログラム運転とは】

- ●時間帯ごとに[自動運転] [停止]のいずれかを選択し、0:00 ～ 24:00まで１時間単位で生活スタイルに合わせて運転することができます。
- ●プログラム運転は、[プログラム１] [プログラム２] [プログラム３]の３種類のプログラムコースを設定することができます。
- ●プログラム運転は、設定した24時間をくり返し運転します。
- ●本体の現在時刻がずれていると、設定した時間で運転しません。現在時刻がずれているときは、「現在時刻」(☞15ページ) の手順で合わせてください。
- ●お買いあげ時は、下記時間にプログラムが設定されています。ご使用状況に合わせて、「プログラム設定」(☞13ページ)の手順でお好みの設定に変更してください。

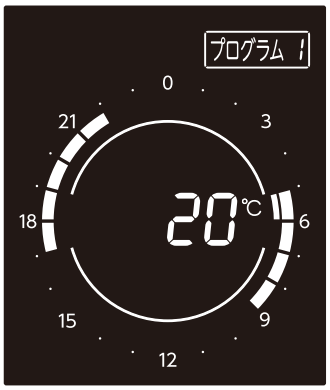
【お買いあげ時のプログラムコースの設定】

[プログラム１] 初期設定

- 5:00 ～ 9:00 …… 自動運転
- 9:00 ～ 17:00 …… 停止
- 17:00 ～ 22:00 …… 自動運転
- 22:00 ～ 5:00 …… 停止

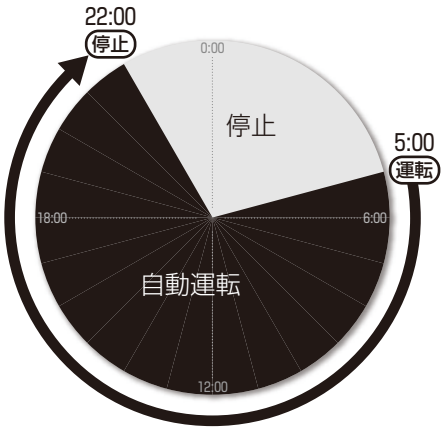


表示部　サークルタイマー

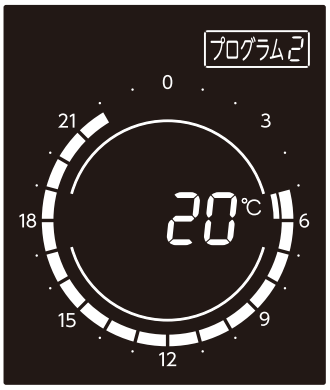


[プログラム２] 初期設定

- 5:00 ～ 22:00 …… 自動運転
- 22:00 ～ 5:00 …… 停止

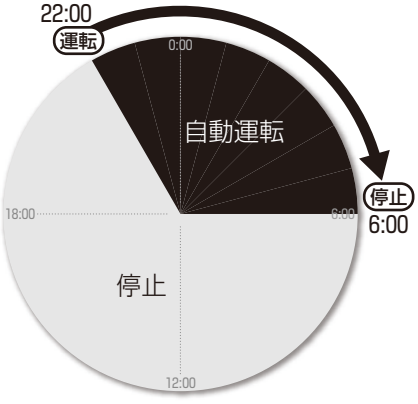


表示部　サークルタイマー

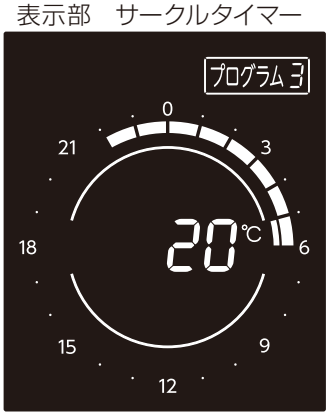


[プログラム３] 初期設定

- 22:00 ～ 6:00 …… 自動運転
- 6:00 ～ 22:00 …… 停止



表示部　サークルタイマー



※表示部は、現在時刻が5時～6時のプログラム運転状態を表示しています。

【運転開始】

「プログラム」キーを押す

●操作音が鳴り、本体操作部の運転ランプが点灯します。ただし現在時刻が、プログラム運転の[停止]状態に設定されているときは、本体操作部の運転ランプは点灯しません。

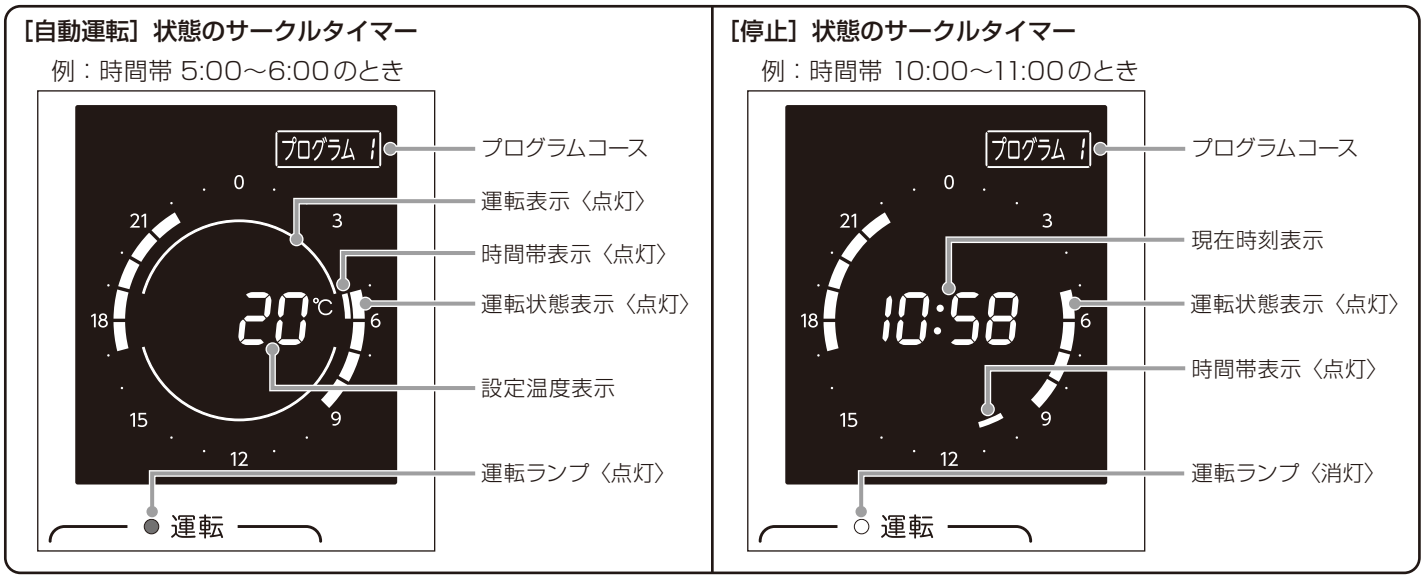
●表示部にプログラムコース プログラム 1 、プログラム 2 または プログラム 3 とサークルタイマーを表示します。

●現在時刻に合わせて、時間帯表示が点灯します。時間帯表示は現在時刻に合わせて移動します。

●プログラム運転の設定に合わせて、[自動運転]状態では設定温度、[停止]状態では現在時刻を表示します。



プログラム運転中の表示



【設定温度変更】

プログラム運転中に「∧」キーまたは「∨」キーを押す

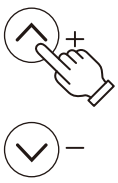
●[自動運転]状態、[停止]状態でも設定できます。

●設定温度をお好みの温度に合わせてください。押すごとに1℃ずつかわり、押し続けると連続してかわります。(8～28℃まで設定できます。)

●設定温度は自動運転とプログラム運転で連動しています。プログラム運転で設定温度をかえると自動運転の設定温度も合わせてかわります。

●設定した温度は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。

●「自動運転」の運転状態を表示部で確認できます。設定温度に対して室温が低いときは強出力で運転し、設定温度に対して室温が高いときは運転を一時停止します。



パワーモニター表示と運転状態

	[自動運転]		[停止]
室　温	低いとき ◀▶ 高いとき		
状　態	運転	一時停止	
表示部	20℃	20℃	10:58
	● 運転 運転ランプ〈点灯〉	● 運転 運転ランプ〈点灯〉	○ 運転 運転ランプ〈消灯〉
DHS-1226 ヒーター出力	1,200～300W	0W	0W
DHS-1526 ヒーター出力	1,500～300W	0W	0W

【プログラムコース変更】

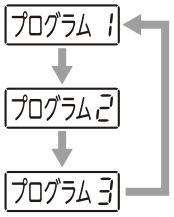
プログラム運転中に「プログラム」キーを押す

●[自動運転]状態、[停止]状態でも設定できます。

●押すごとに「プログラム2」「プログラム3」と切りかわります。運転したいプログラムコースを選んでください。

●選択したプログラムコースは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。





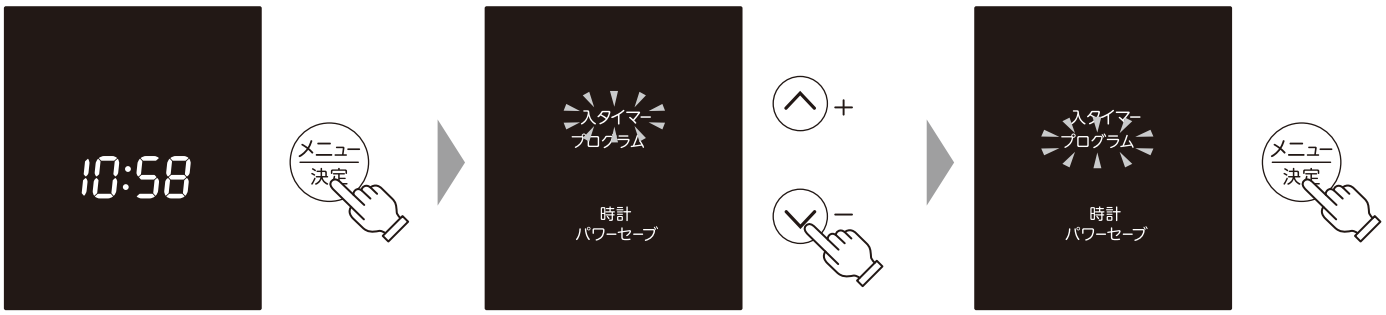
【プログラム設定】

1.「メニュー / 決定」キーを押してメニュー画面を表示し、[プログラム] を選択する

●運転中または停止中でも設定できます。

●「メニュー画面の表示」(☞9ページ) の手順でメニュー画面を表示し、点滅している項目を[プログラム] に合わせて、「メニュー /決定」キーを押して選択してください。

例：停止中 (運転中も可)　「入タイマー」〈点滅〉　「プログラム」〈点滅〉



2.「∧」キーまたは「∨」キーを押し、プログラムコースを選択する

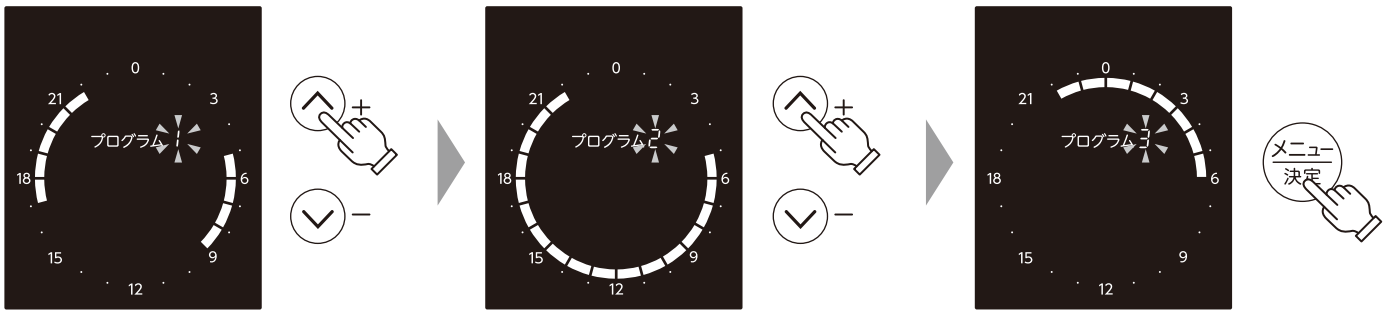
●[プログラム] の横の数字を点滅で表示します。停止中に設定している場合は[プログラム 1]、プログラム運転中の場合は運転中のプログラムコースを表示します。

●設定したいプログラムに合わせて「メニュー /決定」キーを押して選択してください。

●10秒間操作がないときは、自動的に操作前の表示にもどります。

設定例 プログラムコース［プログラム 3］を選択するには

[プログラム] 選択画面　プログラム1〈点滅〉　プログラム2〈点滅〉　プログラム3〈点滅〉



3.「>」キーまたは「<」キーを押して時間帯を選択し、「∧」キーまたは「∨」キーを押して運転状態を選択する

●0:00 ～ 24:00まで 1 時間単位で選択します。

●「>」キーで選択している時間帯が進み、「<」キーで選択している時間帯がもどります。
押しつづけると、連続して時間帯がかわります。運転状態を変更したい時間帯を選択してください。

●「∧」キーまたは「∨」キーを押して「自動運転」「停止」を選択してください。

●「メニュー /決定」キーを押すか、1 分間操作がないとき、設定を完了して自動的に操作前の表示にもどります。

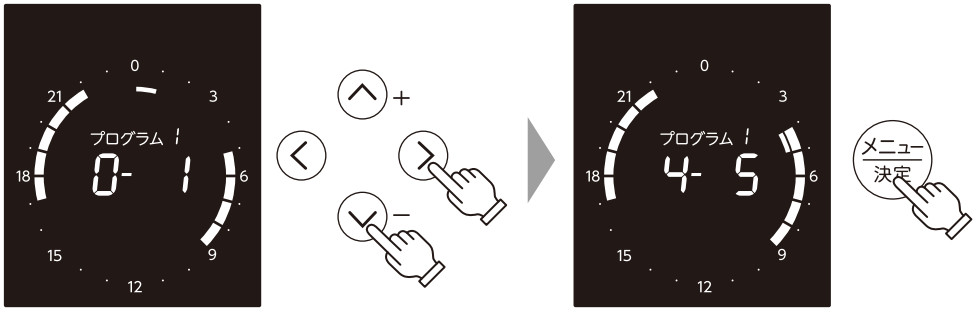
●プログラム運転は無人時に運転するような設定はしないでください。また周囲に可燃物がないことを十分に確認してください。

設定中の表示　例：プログラム1



設定例 プログラム 1 をもとに、運転状態を変更するには

0:00～1:00までの運転　4:00～5:00までの運転



●時間帯を4:00 ～ 5:00へ移動して、運転状態を「停止」→「自動運転」に変更します。

●5:00以降の時間帯も、お好みの運転状態に設定して、「メニュー /決定」キーを押して設定を完了します。

入タイマー運転

セットした時刻になると自動運転または手動運転をおこないます。

例：自動運転で入タイマーセット中
（手動運転もセット可）



運転ランプ〈消灯〉

【セット】

自動運転中または手動運転中に「入タイマー」キーを押す



- ●操作音が鳴り、運転ランプと表示部のパワーモニターが消灯し、運転を停止します。
  表示部は運転していた運転状態表示と、入タイマーセット時刻に切りかわります。
- ●プログラム運転中にはセットできません。
- ●現在時刻が入タイマーセット時刻になると、入タイマーセット時の運転状態で運転します。
- ●本体の現在時刻がずれていると、セットした時間で運転しません。現在時刻がずれているときは、「現在時刻」（☞15ページ）の手順で合わせてください。

【解除】

入タイマーセット中に「停止」キーを押す

- ●表示部が現在時刻に切りかわり、停止状態となります。

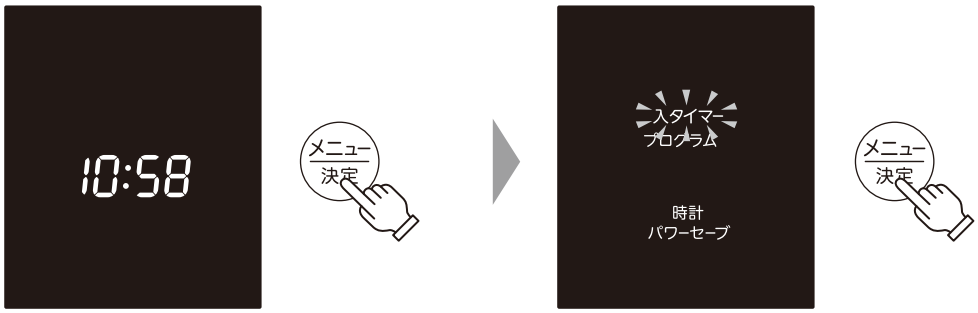
【入タイマー時刻の変更】

1.「メニュー / 決定」キーを押してメニュー画面を表示し、［入タイマー］を選択する

- ●運転中または停止中でも設定できます。
- ●「メニュー画面の表示」（☞9ページ）の手順でメニュー画面を表示し、点滅している項目を［入タイマー］に合わせて、「メニュー/決定」キーを押して選択してください。

例：停止中（運転中も可）

「入タイマー」〈点滅〉



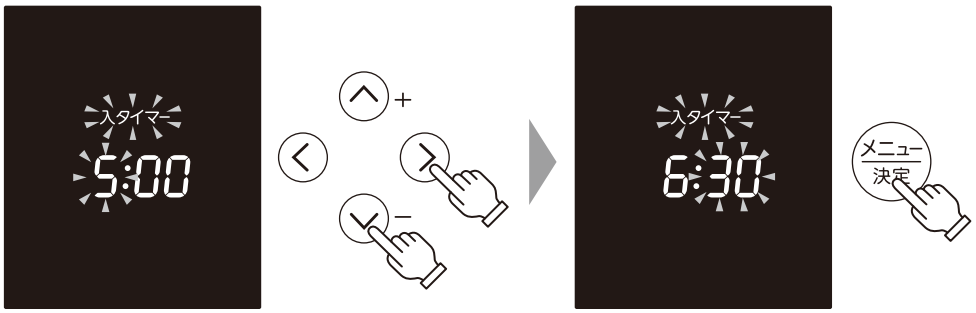
2.「∧」キーまたは「∨」キーを押して入タイマー時刻の数字を変更し、「>」キーまたは「<」キーを押し［時］［分］を切りかえる

- ●［時］は0～23時まで、［分］は00～59分まで設定できます。
- ●「∧」キーまたは「∨」キーを押しつづけると、連続して時刻がかわります。
- ●「メニュー / 決定」キーを押すか、5秒間操作がないとき、設定を完了して自動的に操作前の表示にもどります。

設定中の表示　例：6:30



設定例 **5:00 を 6:30 に変更する**



- ●5:00 の［時］を「∧」キーまたは「∨」キーを押し6時に合わせます。
- ●「>」キーまたは「<」キーを押し［分］を点滅させ、「∧」キーまたは「∨」キーを押し30分に合わせます。
- ●「メニュー / 決定」キーを押して設定を完了します。

現在時刻

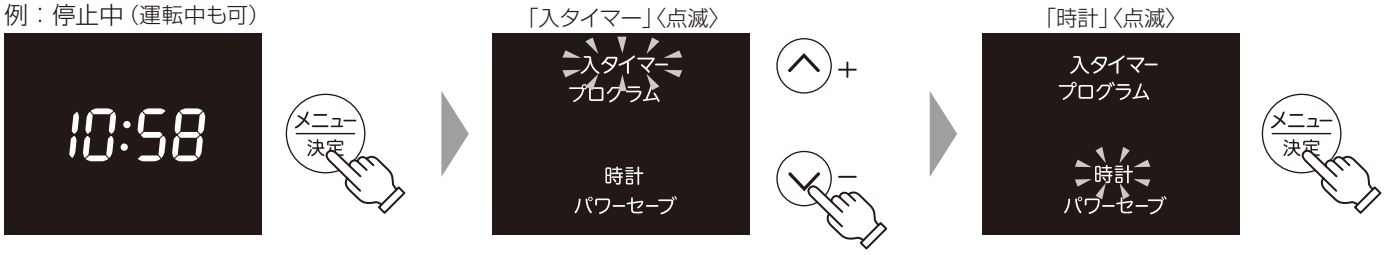
プログラム運転・入タイマー運転を使用するときは、現在時刻が合っているか確認してください。

- ●現在時刻は工場出荷時に合わせていますが、多少ずれることがあります。
- ●時刻がずれているときは、次の手順で合わせてください。
- ●本体内部の電池により、1度セットした時刻は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶していますので、再度合わせる必要はありません。

【現在時刻の変更】

1.「メニュー / 決定」キーを押してメニュー画面を表示し、[時計] を選択する

- ●運転中または停止中でも設定できます。
- ●「メニュー画面の表示」(☞9ページ) の手順でメニュー画面を表示し、点滅している項目を[時計]に合わせて、「メニュー/決定」キーを押して選択してください。



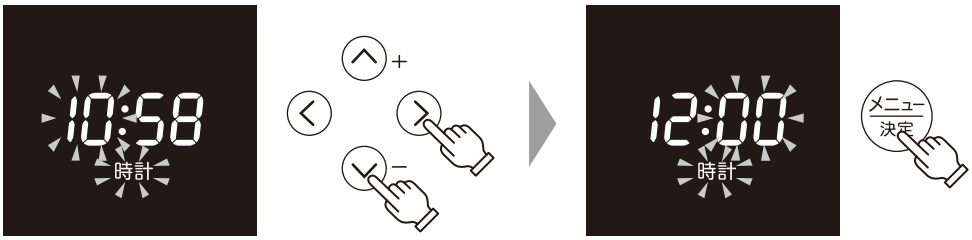
2.「∧」キーまたは「∨」キーを押して時刻の数字を変更し、「>」キーまたは「<」キーを押し[時]［分］を切りかえる

- ●[時] は0 ～ 23時まで、[分] は00 ～ 59分まで設定できます。
- ●「∧」キーまたは「∨」キーを押しつづけると、連続して時刻がかわります。
- ●「メニュー / 決定」キーを押すか、1分間操作がないとき、設定を完了して自動的に操作前の表示にもどります。

設定中の表示　例：10:58



設定例 **10:58 を 12:00 に変更する**



- ●10:58 の［時］を「∧」キーまたは「∨」キーを押し 12 時に合わせます。
- ●「>」キーまたは「<」キーを押し［分］を点滅させ、「∧」キーまたは「∨」キーを押し 00 分に合わせます。
- ●「メニュー / 決定」キーを押して設定を完了します。

ecoモード

室内温度が設定温度になったあと、設定温度より自動的に温度を下げて運転し、消費電力をおさえます。

【セット】

自動運転中またはプログラム運転中に「eco」キーを押す

- ●操作音が鳴り、表示部に eco が点灯します。
- ●表示部の設定温度はかわりません。
- ●ecoモード中は設定温度より自動的に温度を下げた運転をおこなうため、通常運転時よりあたたまらない場合があります。
- ●自動運転中またはプログラム運転中[自動運転]状態、[停止]状態でセットできます。
- ●手動運転中にはセットできません。
- ●自動運転とプログラム運転を切りかえても、ecoモードは解除しません。
- ●セットしたecoモードは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。



例：自動運転でセット中
（プログラム運転もセット可）



eco表示〈点灯〉

【解除】

ecoモード中に「eco」キーを押す

- ●操作音が鳴り、表示部の eco が消灯し、通常の自動運転またはプログラム運転にもどります。

パワーセーブ

運転中のヒーター出力(最大電流)をおさえた運転をおこないます。

- ●運転中にブレーカーが落ちるような場合にお使いください。
- ●手動運転中、パワーセーブ設定を超えた運転に出力を上げる操作をしたときは、[パワーセーブ]が点滅してお知らせし、設定できません。
- ●パワーセーブ中は出力(最大電流)をおさえた運転をおこなうため、通常運転時より、あたたまりが遅くなる場合があります。
- ●パワーセーブ中でも、契約電力の不足や、ブレーカーの容量を超えた電気製品を使用すると、ブレーカーが落ちる場合があります。

【パワーセーブ設定の変更】

1.「メニュー / 決定」キーを押してメニュー画面を表示し、[パワーセーブ] を選択する

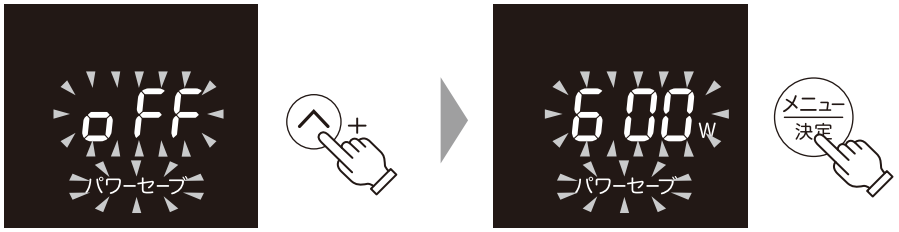
- ●運転中または停止中でも設定できます。
- ●「メニュー画面の表示」(☞9ページ) の手順でメニュー画面を表示し、点滅している項目を[パワーセーブ]に合わせて、「メニュー/決定」キーを押して選択してください。



2.「∧」キーまたは「∨」キーを押し、パワーセーブの設定を切りかえる

- ●初期設定は［OFF］（パワーセーブなし）にセットしています。
- ●「メニュー /決定」キーを押すか、５秒間操作がないとき、設定を完了して自動的に操作前の表示にもどります。

設定例 **パワーセーブ設定を［OFF］（パワーセーブなし）から［600W］に切りかえるには**



例：手動運転中



パワーセーブ設定と出力(最大電流)

	パワーセーブの設定	oFF	1200W	600W
DHS-1226	ヒーター出力（最大電流）	約 1,200W（約 12A）	—	約 600W（約 6A）
	手動運転時に設定可能なヒーター出力	Hi / Mid / Lo	—	Lo
DHS-1526	ヒーター出力（最大電流）	約 1,500W（約 15A）	約 1,200W（約 12A）	約 600W（約 6A）
	手動運転時に設定可能なヒーター出力	Hi / Mid / Lo	Mid / Lo	Lo

チャイルドロック

お子さまなどのいたずら操作の防止や、誤って操作をしても運転しないようにしたいときに使用します。

【セット】

「チャイルドロック」キーを長押しする

- ●操作音が鳴り、表示部に ⊶ が点灯します。
- ●運転中または停止中でもセットできます。
- ●セットしたチャイルドロックは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。解除したい場合は、解除操作をおこなってください。



〈長押し〉

●チャイルドロックをセットすると、運転中は運転停止とチャイルドロック解除操作以外、停止中はチャイルドロック解除操作以外は受け付けません。

●受け付けないキー操作をした場合、操作音と ⊶ 表示が点滅してお知らせします。

例：停止中（運転中も可）



チャイルドロック表示〈点灯〉

【解除】

チャイルドロックセット中に「チャイルドロック」キーを長押しする

- ●操作音が鳴り、表示部の ⊶ が消灯し、通常の運転または停止状態にもどります。

フロアLED

間接照明として本体下部のフロアLEDを点灯します。

●運転中または停止中でも、点灯または消灯ができます。

●フロアLED点灯中は、自動的に表示部バックライトの明るさが「暗」に切りかわります。フロアLEDを消灯すると、設定した表示部バックライトの明るさにもどります。
●周囲が明るい場合や床の材質によっては、フロアLEDの点灯が確認しにくい場合があります。
●フロアLEDには個体差があるため、商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●フロアLEDが点灯しない場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
●フロアLEDはお客様で交換できません。

【点灯】

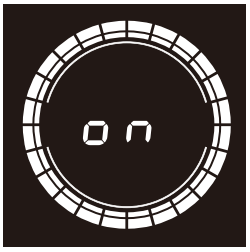
「フロアLED」キーを押す

●操作音が鳴り、本体下部のフロアLEDが点灯します。
●表示部にフロアLED表示[ON]を２秒間表示し、自動的に操作前の表示にもどります。

●フロアLED点灯中は、自動的に表示部バックライトの明るさが「暗」に切りかわります。



フロアLED表示：[ON]



【消灯】

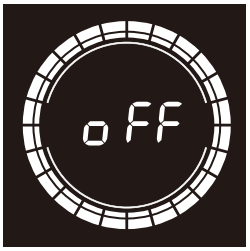
フロアLED 点灯中に「フロアLED」キーを押す

●操作音が鳴り、本体下部のフロアLEDが消灯します。
●表示部にフロアLED表示[OFF]を２秒間表示し、自動的に操作前の表示にもどります。

●フロアLEDを消灯すると、設定した表示部バックライトの明るさにもどります。



フロアLED表示：[OFF]



フロアLED・表示部バックライトの明るさ

フロアLEDまたは表示部バックライトの明るさを変更したいときにおこないます。

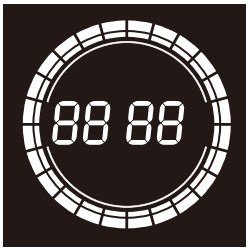
「フロアLED」キーを長押しする

●運転中または停止中でも設定できます。
●操作音が鳴り、フロア LED が消灯している場合は点灯します。
●表示部に明るさ切換表示を表示します。



〈長押し〉

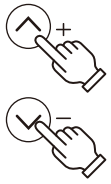
明るさ切換表示



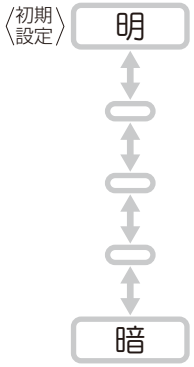
【フロアLEDの明るさの変更】

明るさ調整モード中に「∧」キーまたは「∨」キーを押し、フロアLED の明るさを切りかえる

●明るさは[明]～[暗]の間で５段階に変更できます。
●初期設定の明るさは[明]に設定しています。
●「メニュー／決定」キーを押すか、５秒間操作がないとき、設定を完了して自動的に操作前の表示にもどります。
●変更したフロアLEDの明るさは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。



フロアLEDの明るさ



【表示部バックライトの明るさの変更】

明るさ調整モード中に「<」キーまたは「>」キーを押し、表示部バックライトの明るさを切りかえる

●明るさは[明]～[暗]の間で３段階に変更できます。
●初期設定は明るさ[標準]に設定しています。
●「メニュー／決定」キーを押すか、５秒間操作がないとき、設定を完了して自動的に操作前の表示にもどります。
●変更した表示部バックライトの明るさは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。

●フロアLED点灯中は、自動的に表示部バックライトの明るさが「暗」に切りかわります。フロアLEDを消灯すると、設定した表示部バックライトの明るさにもどります。

表示部バックライトの明るさ





表示部バックライトの常時点灯

表示部バックライトを常時点灯したいときにおこないます。


〈同時に長押し〉

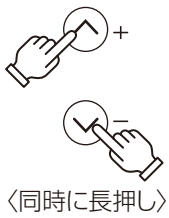
停止中に「<」キー「>」キーを同時に長押しする

- ●操作音が鳴り、表示部バックライトが常時点灯モードに切りかわります。
- ●解除するには、停止中に「<」キー「>」キーを同時に長押ししてください。操作音が鳴り、解除します。
- ●運転中には切りかえできません。
- ●バックライト常時点灯モードは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。

●表示部バックライトの常時点灯の設定はリモコンではできません。設定したい場合は本体で操作をおこなってください。

操作音オフ

操作音を鳴らないようにしたいときにおこないます。


〈同時に長押し〉



操作音オフ表示〈点灯〉

停止中に「∧」キー「∨」キーを同時に長押しする

- ●操作音が鳴り、表示部に を表示し操作音オフモードに切りかわります。
- ●解除するには､停止中に「∧」キー「∨」キーを同時に長押ししてください。操作音が鳴り、解除します。
- ●運転中には切りかえできません。
- ●安全装置作動時の警告音は操作音オフモード中でも鳴り、お知らせします。
- ●操作音オフモードは電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶しています。

●操作音オフの設定はリモコンではできません。設定したい場合は本体で操作をおこなってください。

記憶機能

電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後に再通電したときでも各設定を記憶しています。

リモコン操作

表示部バックライトの常時点灯、操作音オフの設定以外は、本体操作部と同じ操作がおこなえます。

電源コード収納

本体を移動するときや保管するときにご使用ください。

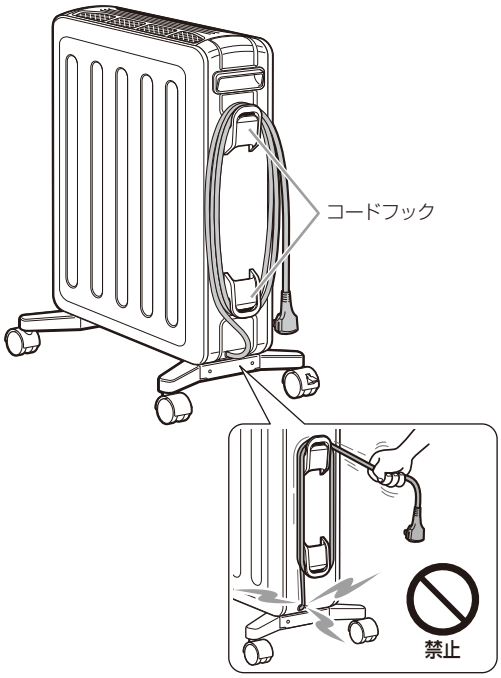
- ●電源コードを右図のようにコードフックに巻きつけてください。コードフック以外に電源コードを巻きつけないでください。電源コードの断線の原因になります。

⚠警告

●電源コードを巻きつけたまま運転しないでください。
電源コードが過熱したり断線するなど、火災や感電の原因になります。

⚠注意

●電源コードの根元を強く曲げないでください。
電源コードの根元が強く曲がるようにコードフックや本体に巻かないでください。断線するなど、故障の原因になります。



6 お手入れのしかた

⚠注意

●分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災、感電、けがの原因になります。

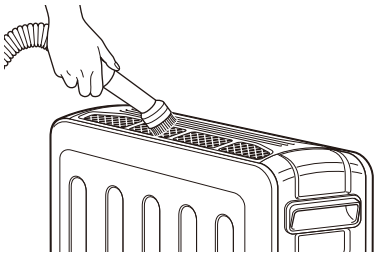
●お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなってください。
感電や、やけどの原因になります。

●お手入れの際はルームサーモセンサーをさわらないでください。
キャスター付近にあるルームサーモセンサーをさわると動作不良、性能低下の原因になります。

●水洗いやぬらしたりしないでください。
漏電や感電の原因になります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の溶剤や潤滑剤などを使用しないでください。
塗装面やプラスチックをいためるおそれがあります。

定期的なお手入れ

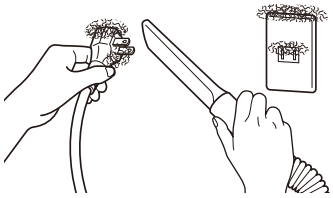


【本体と周辺の点検】

●本体周辺には燃えやすいものや障害物がないか確認してください。

●本体のグリルや通気口、床や壁との隙間のほこりやごみは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。

【コンセントおよび電源プラグの点検】



●コンセントおよび電源プラグに付着しているほこりやごみは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。

●コンセントが緩んでいたり、電源プラグががたついていないか確認してください。

●電源プラグの刃が変形していないか確認してください。電源プラグに異常があるときは使用を中止し、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

【本体が汚れたときの清掃】

●本体の汚れは乾いたやわらかい布でふき取ってください。

●汚れがひどいときは、柔らかい布に薄めた中性洗剤をしみこませて、かたくしぼってふいてから、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

7 保管

●お手入れ後、お買いあげ時の包装箱に入れるか、本体にほこりが入らないようにポリ袋をかぶせて、湿気の少ない場所に保管してください。

●保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

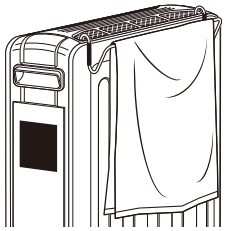
●包装箱に入れるときは、電源コードをコードフックに巻かずに箱に入れ、電源コードの根元が強く曲げた状態にならないようにして、保管してください。断線するなど、故障の原因になります。

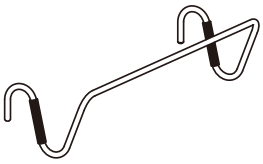
●包装箱から出しているときは、本体を傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。故障の原因になります。

●取扱説明書も大切に保管してください。

8 別売品について

●次の別売品を用意しております。お近くの販売店またはコロナストア(☞22ページ)でお買いあげください。





※タオルは同梱しません

自然対流形電気暖房機
ノイルヒート専用
タオルハンガー
(型式：DHS-H1…1個入)

●タオルハンガーは本体(ノイルヒート)の放熱を利用して、乾いたタオルや衣類などをあたためるために使用します。

●ぬれたタオルや衣類の乾燥などには使用しないでください。

9 故障・異常の見分けかたと処置方法

●安全装置が作動して停止し、表示部にエラー表示でお知らせします。
「停止」キーを押し（エラーを解除します）、処置をしてください。処置をしても繰り返し表示するときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。（修理を依頼されるときは、エラー表示をお知らせください。）

表示部（エラー表示）、症状	原　因	処 置 方 法
(EJ)　(EH) EJ ・ EH 過熱防止装置の作動	●通気口やグリルにほこりがつまっている ●通気口やグリルがふさがれている ●本体がタオルや毛布で覆われている ●本体にファンヒーターやエアコンなどの風があたっている	●本体が冷めてから、通気口やグリルの清掃・点検・換気、周囲の確認をしてから、エラーを解除してください。 ●処置をしても繰り返し表示するときは使用を中止し、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
(EA) EA 室温の異常上昇検知	●ルームサーモセンサーにファンヒーターやエアコンなどの風があたっている ●ルームサーモセンサーの故障	●本体が冷めてから、周囲の確認をし、エラーを解除してください。 ●処置をしても繰り返し表示するときは使用を中止し、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
(EP) EP センサープラグの温度上昇検知	●コンセントおよび電源プラグに付着しているほこりやごみにより、電源プラグ周囲が異常温度上昇した ●コンセントの緩みや経年劣化などの接触不良、電源プラグのがたつきにより、電源プラグ周囲が異常温度上昇した	●本体が冷めてから、コンセントおよび電源プラグの清掃･点検、周囲の確認をしてください。 ●コンセントや電源プラグに異常があるときは使用を中止し、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
(E9) E9 転倒オフスイッチの作動	●本体を傾けた ●強い地震や本体に振動、衝撃を受けた	●本体をおこし、水平で安定した場所で使用してください。 ●地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、本体の損傷など異常がないことを確認してから、エラーを解除してください。
電源プラグを差すと時計表示が -- -- と表示される	●本体内部の電池の寿命で、現在時刻の設定が記憶されていない	●お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。 ※電池がなくなった場合、現在時刻の設定は記憶されませんが、現在時刻を合わせれば時計を表示できます。

●次のような現象は故障ではありません。修理・サービスを依頼される前に再度お確かめください。

現　象	説　明
初めて使用するとき、シーズン初めに使用するときなど、臭いが出る	新製品特有の臭いや内部のほこりが焼けるために出る臭いです。しばらくするとおさまります。臭いが出たときは、十分換気をしてご使用ください。
本体から金属音がする	本体があたたまったり、冷めたりする際に内部が膨張、収縮するためです。異常ではありません。
電源プラグをコンセントに差しているとき、本体からかすかに音がする	回路に電気が流れて制御音がするためです。異常ではありません。
表示部が表示しなくなる	運転停止後、1分間操作がないとき、表示部バックライトが消灯します。異常ではありません。 表示部バックライトを常時点灯させたい場合、「表示部バックライトの常時点灯」（☞18ページ）の手順で設定してください。
お部屋の温度があたたまりにくい	お部屋の諸条件（断熱性能など）によって、あたたまりにくい場合があります。異常ではありません。
運転中、電源プラグが少し熱い	運転中は、電源プラグが若干熱をおびることがあります。異常ではありません。

●修理・サービスを依頼される前に次の表にもとづいてお確かめください。

症　状	原　因	処　置　方　法
電源が入らない 運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けている ●チャイルドロックがはたらいている ●ブレーカーがオフになっている	●電源プラグをコンセントに差しこんでください。 ●設定を確認してください。 ●ブレーカーをオンにしてください。
リモコンで操作できない 操作音が鳴らない	●電池が切れている ●電池の向きが間違っている ●リモコンを本体操作部に向けていない	●電池を交換してください。 ●電池を正しく入れなおしてください。 ●リモコンを本体操作部に向けてください。
お部屋があたたまらない 本体があたたまらない	●お部屋の出入口付近に設置している ●ホットカーペットや床暖房の上に設置している、またはファンヒーターやエアコンなどの風があたっている ●パワーセーブを設定している ●ecoモードで運転している ●設定出力または設定温度が低くなっている、または本体周辺の温度が設定温度に達している ●プログラム運転中で「停止」の時間帯である	●出入口から離れた場所に設置してください。 ●他の暖房機の影響を受けるとルームサーモセンサーが正しくはたらきません。設置状態を確認してください。 ●パワーセーブ中は出力(最大電流)をおさえた運転をおこなうため、通常運転時よりあたたまらない場合があります。パワーセーブの設定を変更してください。 ●ecoモード中は設定温度より自動的に温度を下げた運転をおこなうため、通常運転時よりあたたまらない場合があります。設定温度を上げるか、ecoモードを解除してください。 ●お部屋の環境によって、設定出力または設定温度を上げて運転してください。 ●プログラム運転中で「停止」の時間帯を変更するか、自動運転または手動運転に切りかえて運転してください。
フロアLEDが暗い	●周囲が明るい場所で使用している ●フロアLEDの設定が暗くなっている	●フロアLEDは間接照明のため、周囲が明るい場合や床の材質によっては、フロアLEDの点灯が確認しにくい場合があります。 ●フロアLEDの明るさを変更してください。
電源プラグが異常に熱い	●電源プラグが、コンセントの奥まで差しこまれていない ●電源プラグの刃が変形している ●コンセントの緩みや経年劣化などの接触不良、電源プラグのがたつきがある ●延長コードを使用したり、タコ足配線をしている ●電源コードを無理に折ったり、曲げたり、束ねている、または電源コードをコードフックに巻いたまま使用している ●電源コードに重いものがのったり、はさみこんでいる	●電源プラグをコンセントの奥まで確実に差しこんでください。 ●電源プラグに異常があるときは使用を中止し、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。 ●異常があるコンセントでの使用を中止し、お近くの電気工事店などにコンセントの修理をご依頼ください。 ●延長コードやタコ足配線をしないでください。 ●使用時、電源コードは束ねたりコードフックに巻いたりせず、伸ばしたままお使いください。 ●電源コードにのっているもの、はさんでいるものを取り除いてください。電源コードに異常があるときは使用を中止し、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

※なお異常のあるときは、本体の故障の可能性があります。
処置方法により処置しても良くならないときは、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

10 定期点検

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

愛情点検



ご使用の際、このようなことはありませんか？

長年ご使用の電気暖房器の点検をぜひ！

■コードを折り曲げると、電源が入ったり、切れたりする。
■運転中に異常な音や振動がする。
■本体からこげくさい強い臭いがする。
■プラグ・コード・本体が異常に熱い。
■その他異常・故障のあるとき

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のためスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買いあげの販売店にご連絡ください。
点検・修理についてのご費用など詳しいことはお買いあげの販売店に、ご相談ください。

電源プラグやコンセントに、ほこりやごみがたまっている。 ▶ ほこりやごみを取り除いてください。

11 仕様

型式	DHS-1226	DHS-1526
種類	自然対流形電気暖房機	
定格電圧	交流100 V	
消費電力	1,200～300 W	1,500～300 W
待機時消費電力	0.6 W	
定格周波数	50 ／ 60 Hz	
暖房のめやす	8 畳まで※1　10 畳まで※2	10 畳まで※1　13 畳まで※2
外形寸法	高さ 621× 幅 270× 奥行 469 ㎜	
質量	9.7 kg	11.3 kg
電源コード長さ	2.5 m	
タイマー	プログラム運転・入タイマー	
安全装置	転倒オフスイッチ・過熱防止装置・センサープラグ（電源プラグ）	
付属品	リモコン・リチウム電池（CR2025）	

※1 日本電機工業会自主基準
※2 自社実験による。試験条件：次世代省エネルギー基準（Ⅲ～Ⅴ地域相当）　外気温5℃

12 アフターサービス

修理サービスについて

●自然対流形電気暖房機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。詳しくはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
●保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるとき

●本書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」（☞ 20～21ページ）の項に従って調べても良くならないときは、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
●ご連絡の際には次の内容をご連絡ください。
■型式：上記「仕様」欄に記載
■故障内容（できるだけ具体的に）
■お買いあげ日
■ご住所・お名前・電話番号
●修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。
●ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書について

コロナ自然対流形電気暖房機には「保証書」がついています。（裏表紙に印刷しています。）
●「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●本体の保証期間はお買いあげいただいた日から3年間です。
ただし、取扱説明書・安全表示などの記載事項にそわない使いかたをした場合は保証対象外です。
●この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

13 お客様ご相談窓口

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。
電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号　365日24時間受付）

TEL　フリーダイヤル　**0120-919-302**
携帯電話　ナビダイヤル　**0570-550-992**
ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ
https://www.corona.co.jp/support/service/
■365日24時間修理依頼ができます。
部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
右記QRコードからアクセスできます。

コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。
補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。

公式オンラインストア
CORONA STORE
https://ec.coronaweb.com/
（コロナ公式ホームページからもアクセスできます ）

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

926040R

コロナ 自然対流形電気暖房機保証書

型式	ご購入機種に○を付けてください	
	DHS-1226	DHS-1526

★お客様	お名前　　様
	ご住所　〒（　　－　　）
	電話（　　）　　－

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ（★印欄に記入のない場合は、無効となります）、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日		年　月　日
保証期間	対象部分	本　体
	期　間（お買いあげ日より）	3　年

★販売店	住所・店名
	電話（　　）　　－

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記入がない場合は、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、商品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口（本書の22ページに記載）にお問い合わせください。
5. 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）取扱説明書、本体表示等によらないで使用された場合、または適切な点検・手入れをおこなわなかったことにより発生した不具合
   （ハ）お買いあげ後の輸送、落下等による故障および損傷
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障および損傷
   （ホ）定期点検の費用
   （ヘ）業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
   （ト）本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
   通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
   （チ）本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。This guarantee is valid in Japan only.
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

見本

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書の22ページに記載）にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書の22ページに記載）にお問い合わせください。

株式会社 コロナ
〒955−8510　新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　https://www.corona.co.jp/

111WA0562-0 1 2 3　dsp 2026